



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要

建物名称	静岡地方・家庭裁判所沼津支部庁舎	BEE	2	BEEランク	A	★★★★
------	------------------	-----	---	--------	---	------

2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点*/満点	取組み度	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.7	/5	ふつつ
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	3.0	/5	ふつつ
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.4	/5	ふつつ
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	3.0	/5	ふつつ

※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)

評価 凡例	よい 4 点以上	ふつつ 3 点以上	がんばろう 3 点未満
-------	----------------	-----------------	-------------------

3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。		内訳対応項目	
<b>"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)</b>		得点	3.7
<p>■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数)</p> <p>③ブラインド制御とサイドフィン制御を採用</p> <p>④主要用途上位3種のうち、2種以上にC以上を使用。</p>	Q-1 2	2.1 2.2 ① 外皮性能	
	Q-1 3	3.1 3.1.3 ② 昼光利用設備	
		3.2 3.2.1 ③ 昼光制御	
	Q-2 2	2.2 2.2.1 ④ 躯体材料の耐用年数	
<p>■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)</p> <p>特になし</p>	Q-3 1	⑤ 生物環境の保全と創出	
	3	3.2 ⑥ 敷地内温熱環境の向上	
<p>■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用)</p> <p>⑦BPI=0.79。</p> <p>⑨BEI=0.57。</p>	LR-1 1	⑦ 建物外皮の熱負荷抑制	
	2	⑧ 自然エネルギー利用	
	3	⑨ 設備システムの高効率化	
	4	4.1 ⑩ モニタリング	
<p>■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避)</p> <p>⑪雨水利用設備の導入による雨水の有効利用。</p> <p>⑫躯体材料に高炉セメントB種、それ以外の材料に押出法ポリスチレンフォーム、再生クラッシュランを使用し、部材の再利用可能性向上への取り組みとして、容易に分別可能なLGS工法とOAを採用。</p> <p>⑬GWP=10以下である押出法ポリスチレンフォームと吹付硬質ウレタンフォームA種1Hを採用</p>	LR-2 1	1.1 ⑪ 節水	
		1.2 1.2.1 ⑪ 雨水利用システム導入の有無	
	2	2.1 1.2.2 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無	
		2.2 ⑫ 材料使用量の削減	
		2.3 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用	
		2.4 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用	
		2.5 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	
		2.6 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材	
	3	3.1 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取り組み	
		3.2 3.2.1 ⑬ 有害物質を含まない材料の使用	
	3.2.2 ⑬ 消火剤		
	3.2.3 ⑬ 断熱材		
	⑬ 冷媒		
<p>■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善)</p> <p>⑭ライフサイクルCO2排出量を72%に抑制</p>	LR-3 1	⑭ 地球温暖化への配慮	
	2	2.2 ⑮ 温熱環境悪化の改善	
<b>"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)</b>		得点	3.0
<p>■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)</p> <p>特になし</p>	Q-2 2	2.1 2.1.1 ⑯ 耐震性	
		2.2 ⑯ 免震・制振性能	
		2.4 2.4.1 ⑰ 空調・換気設備	
		2.4.2 ⑰ 給排水・衛生設備	
		2.4.3 ⑰ 電気設備	
		2.4.4 ⑰ 機械・配管支持方法	
	2.4.5 ⑰ 通信・情報設備		
<b>"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)</b>		得点	3.4
<p>■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり)</p> <p>⑲階高を3.9m以上、壁長さ比率は0.22であり、階高にゆとりを持ち、かつ、空間の形状・自由さを確保している。</p>	Q-2 1	1.1 1.1.3 ⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画	
	3	3.1 3.1.1 ⑲ 階高のゆとり	
		3.1.2 ⑲ 空間の形状・自由さ	
<p>■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮)</p> <p>特になし</p>	Q-3 3	3.1 ㉑ 地域性への配慮、快適性の向上	
	<b>"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)</b>		得点
<p>■室外環境(敷地内)対策 (②生物環境の保全と創出/②まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上)</p> <p>②建物形状や緑地などの取り組みにより周辺の街並みや景観に考慮している</p>	Q-3 1	⑤ 生物環境の保全と創出	
	2	② まちなみ景観への配慮	
	3	3.2 ⑥ 敷地内温熱環境の向上	
<p>■敷地外環境対策 (⑫持続可能な森林から産出された木材/⑮温熱環境悪化の改善)</p> <p>特になし</p>	LR-2 2	2.5 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材	
	LR-3 2	2.2 ⑮ 温熱環境悪化の改善	